

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名		介助技術演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年		2年		学期及び曜時限	後期	教室名	機能回復訓練室
担 当 教 員		杉原 翔太	実務経験とその関連資格	回復期病院で8年間勤務。認知症ケア専門士を取得。脳血管疾患のみならず循環器にも携わる。			
《授業科目における学習内容》							
理学療法士として必要となる基本的介助技術やポジショニング技術を身に着ける。							
《成績評価の方法と基準》							
実技試験にて評価する							
《使用教材(教科書)及び参考図書》							
資料を配布する							
《授業外における学習方法》							
より精度の高い技術習得のため自己練習に取り組む							
《履修に当たっての留意点》							
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	本科目の目的と到達度を説明できる		配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーションを行う				
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	起居・起立動作について自立度に合わせ安全に介助できる		配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う	
		各コマにおける授業予定	起居・起立動作の介助技術について指導を行う				
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	起居・起立動作について自立度に合わせ安全に介助できる		配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う	
		各コマにおける授業予定	起居・起立動作の介助技術について指導を行う				
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	起居・起立動作について自立度に合わせ安全に介助できる		配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う	
		各コマにおける授業予定	起居・起立動作の介助技術について指導を行う				
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	起居・起立動作について自立度に合わせ安全に介助できる		配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う	
		各コマにおける授業予定	起居・起立動作の介助技術について指導を行う				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	車いすとベッド間の移乗動作について自立度に合わせ安全に介助できる	配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う
		各コマにおける授業予定	移乗動作の介助技術について指導を行う		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	車いすとベッド間の移乗動作について自立度に合わせ安全に介助できる	配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う
		各コマにおける授業予定	移乗動作の介助技術について指導を行う		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	車いすとベッド間の移乗動作について自立度に合わせ安全に介助できる	配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う
		各コマにおける授業予定	移乗動作の介助技術について指導を行う		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	車いすとベッド間の移乗動作について自立度に合わせ安全に介助できる	配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う
		各コマにおける授業予定	移乗動作の介助技術について指導を行う		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	歩行動作について自立度に合わせ安全に介助できる	配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う
		各コマにおける授業予定	歩行動作の介助技術について指導を行う		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	歩行動作について自立度に合わせ安全に介助できる	配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う
		各コマにおける授業予定	歩行動作の介助技術について指導を行う		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	模擬患者の状態に応じた適切なポジショニングができる	配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う
		各コマにおける授業予定	ベッド上や車いす座位におけるポジショニング指導を行う		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	模擬患者の状態に応じた適切なポジショニングができる	配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う
		各コマにおける授業予定	ベッド上や車いす座位におけるポジショニング指導を行う		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	模擬患者の状態に応じた適切なポジショニングができる	配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う
		各コマにおける授業予定	ベッド上や車いす座位におけるポジショニング指導を行う		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	模擬患者の状態に応じた適切なポジショニングができる	配布資料	十分な技術習得のため、自己練習を行う
		各コマにおける授業予定	ベッド上や車いす座位におけるポジショニング指導を行う		